

佐賀平野大規模浸水危機管理対策検討会 (第5回)

平成20年2月12日

議 事 次 第

- 1 開会挨拶
- 2 危機管理計画の実施体制について
- 3 検討会規約改正について
- 4 各施策の進捗状況及び今後の取り組み予定についての報告
 - ①全体での取り組み
 - ②情報収集・伝達
(質 疑)
 - ③広域応援・緊急輸送路ネットワーク
(質 疑)
 - ④連携強化
(質 疑)
 - ⑤個別対応
(質 疑)

1. 開会挨拶

参加機関紹介

配布資料確認

- ・議事次第
- ・座席表
- ・出席者名簿
- ・規約
- ・危機管理計画の実施体制について
- ・パンフレット
- ・施策発表プログラム
- ・プレゼン資料
- ・佐賀平野大規模浸水危機管理計画

2. 危機管理計画の実施体制 について

実務者連絡会

○目的

佐賀平野大規模浸水危機管理対策検討会の下部組織として、検討会にて策定した「佐賀平野大規模浸水危機管理計画」に基づき、防災・減災対策に関する施策の推進並びに連絡、調整を行う。

【平成19年11月20日 発足】

○組 織

検討会より継続参加

佐賀県(河川砂防課、道路課、消防防災課、農山漁村課、危機管理・広報課)
佐賀市、白石町
陸上自衛隊第4特科連隊
西日本高速道路(株)
九州地方整備局(武雄河川事務所、佐賀国道事務所、
佐賀河川総合開発工事事務所、筑後川河川事務所)

新規参加

佐賀地方気象台、佐賀県警

神崎市、小城市、多久市、武雄市、鹿島市、上峰町、吉野ヶ里町、
みやき町、江北町、大町町

九州電力(株)、(株)NTT西日本

九州地方整備局(嘉瀬川ダム工事事務所、国営吉野ヶ里歴史公園事務所)

九州防災エキスパート会
NPO法人技術交流フォーラム

実務者連絡会幹事会

幹事会：実務者連絡会の下部組織として設置する。

- ・幹事会の中から各分野の幹事を設け、各施策の企画・調整を実施
- ・施策実施状況を大規模浸水危機管理検討会へ報告

幹事会メンバー

武雄河川・副所長 佐賀国道・副所長

佐賀県河川砂防課・副課長

佐賀県消防防災課・副課長

佐賀県道路課・副課長

佐賀市・消防防災室長 白石町・総務課長

武雄市・総務課長 神崎市・総務課長

メンバー・組織構成について

大規模浸水危機管理検討会

実務者連絡会

幹事会

進行管理・調整

検討グループ①
情報収集伝達

検討グループ②
広域応援・緊急輸送路

検討グループ③
連携強化

○大規模浸水危機管理計画・実務者連絡会検討グループ

■ 幹事会参加機関
○ 施策参加機関

● 検討グループ幹事
◎ 施策幹事機関

施策番号	施策名	国						佐賀県					市町								民間			備考				
		気象台	自衛隊	筑後川	武雄河川	佐賀国道	佐賀河川	吉野ヶ里	嘉瀬川ダム	消防防災課	河川砂防課	道路課	警察	佐賀市	小城市	多久市	武雄市	神崎市	鹿島市	みやき町	吉野ヶ里町	上峰町	江北町		大町町	白石町	西日本高速	九電
1. 全体での取り組み																												
幹事	武雄河川				●																							
1-1	ラジオ				◎				○																			NHK
3-4	実務者連絡会				◎				○																			
3-5	マスコミ勉強会				◎				○																			
2. 情報収集・伝達																												
幹事	武雄河川、河川砂防課				●					●																		
1-2	総合掲示板	○		○	◎	○	○		○	○					○	○	○			○			○	○	○	○	○	
1-3	ヘリテレ			○	◎				○																			
1-4	CCTV					◎				○																		
1-5	民間から			○	○	◎			○																			
1-7	高速道路での情報				○																				◎			
3. 広域応援・緊急輸送路																												
幹事	佐賀国道、道路課					●				●																		
2-1	地域高規格接続				◎	○				○	○																	
2-3	河川管理用通路				◎					○																		
2-5	SA, PA									○	○	○	○	○	○										◎			
4. 連携強化																												
幹事	消防防災課								●																			
1-6	リエゾン		○		○				◎			○				○		○		○	○	○	○	○	○			
2-2	一般道・路面高				◎	○				○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
3-1	避難所整備ガイド								◎			○			○		○		○	○	○	○	○	○	○			
3-2	避難所位置・構造				◎				○			○			○		○		○	○	○	○	○	○	○			
3-3	防災まちづくり			○	◎				○			○			○		○		○	○	○	○	○	○	○			
5. 個別対応																												
1-8	防災情報板						◎		○																			
2-4	防災ST等の整備				◎	◎	○		○			○																

避難地として検討

3. 検討会規約改正について

4. 各施策の進捗状況及び今後の取り組み 予定についての報告

4. 各施策の進捗状況及び今後の取り組み 予定についての報告

①全体での取り組み

施策No3-4 実務者連絡会の設置

施策の目的

関係機関の連携強化、情報共有の促進。

施策の概要

関係機関の実務者同士が、危機管理計画の施策推進のために、連絡・調整を行う。

進捗状況

平成19年11月20日 第1回実務者連絡会開催

大規模浸水危機管理検討会

実務者連絡会

幹事会

進行管理・調整

検討グループ①
情報収集伝達

幹事：武雄河川
河川砂防課

検討グループ②
広域応援・緊急輸送路

幹事：佐賀国道
道路課

検討グループ③
連携強化

幹事：消防防災課

施策No3-5 マスコミとの勉強会の実施

施策の目的

災害時等の情報伝達の円滑化を図る。

施策の概要

マスコミと行政機関、インフラ関連企業との意見交換。

進捗状況

平成19年5月25日 第1回開催

今後の予定

3月に第2回開催予定

第1回マスコミとの勉強会 参加機関

○行政機関

佐賀県各課、佐賀市、白石町、陸上自衛隊、佐賀地方気象台

国土交通省(武雄河川、佐賀国道、佐賀河川、嘉瀬川ダム、巖木ダム、吉野ヶ里)

○インフラ関連企業

西日本高速道路(株)、九州電力、NTT西日本

○マスコミ

NHK佐賀放送局、ケーブルワン、(株)エフエム佐賀、朝日新聞、西日本新聞、佐賀新聞、時事通信社

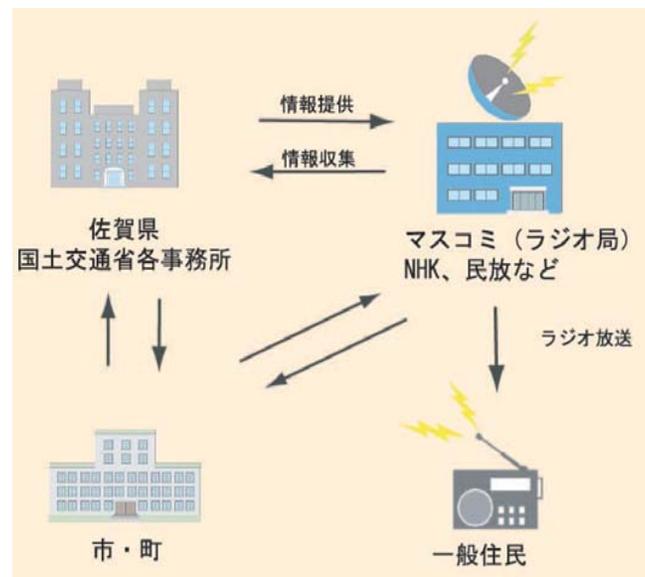


H19.5.25 第1回マスコミとの勉強会

施策No1-1 ラジオによる情報伝達

機関名・事務所名	参加機関名	幹事機関	担当	連絡先
		国土交通省 武雄河川事務所	◎	調査課 大規模浸水危機管理計画担当
			電気通信課	0954-23-7939
	佐賀県 消防防災課		国民保護・防災担当	0952-25-7026
	日本放送協会			
施策名	ラジオによる情報伝達			
施策の概要	長時間にわたる停電等が発生しても利用可能なラジオによる情報伝達の充実・強化 (迅速的確な情報提供)			
施策の内容 (目標)	停電時の情報伝達手段として有効なラジオについて、迅速的確な情報伝達手段と方法について検討する。			
施策を実行することによる利点	停電時の情報伝達手段の確保			
スケジュール案	H19 音声情報による広報(案)の取りまとめ			
備考	本施策には実務者連絡会の全機関が参加する。 機関名・事務所名の欄には幹事機関、佐賀県の代表機関、日本放送協会のみ記載している。			

施策概要図



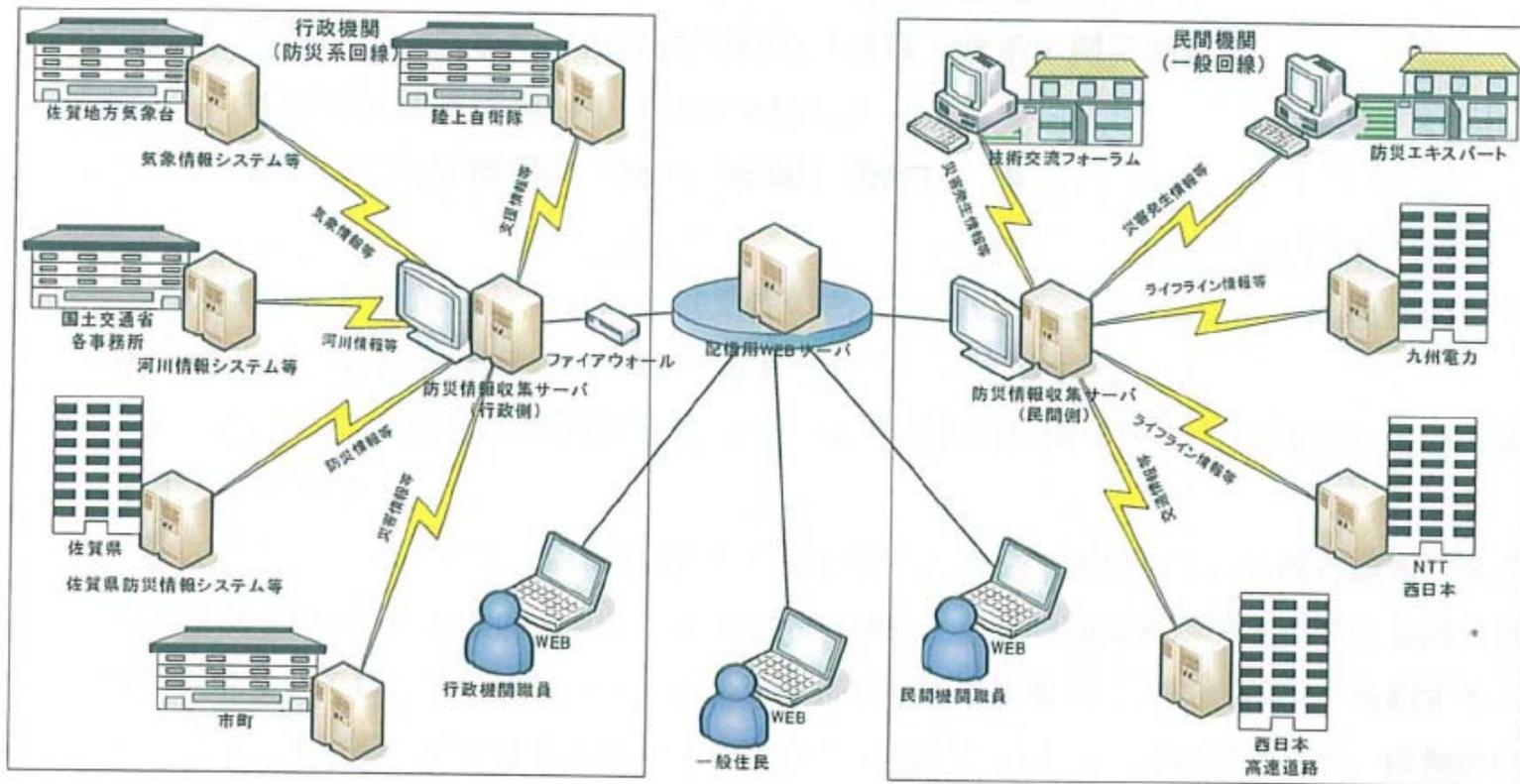
ラジオによる情報伝達のイメージ図

4. 各施策の進捗状況及び今後の取り組み 予定についての報告

②情報収集・伝達

施策No1-2 防災情報総合掲示板

施策の概要



施策の目的

一般市民、関係機関が防災に関わる情報を共有し、それぞれの防災・避難活動に活用する。

施策No1-2 防災情報総合掲示板

今後の予定

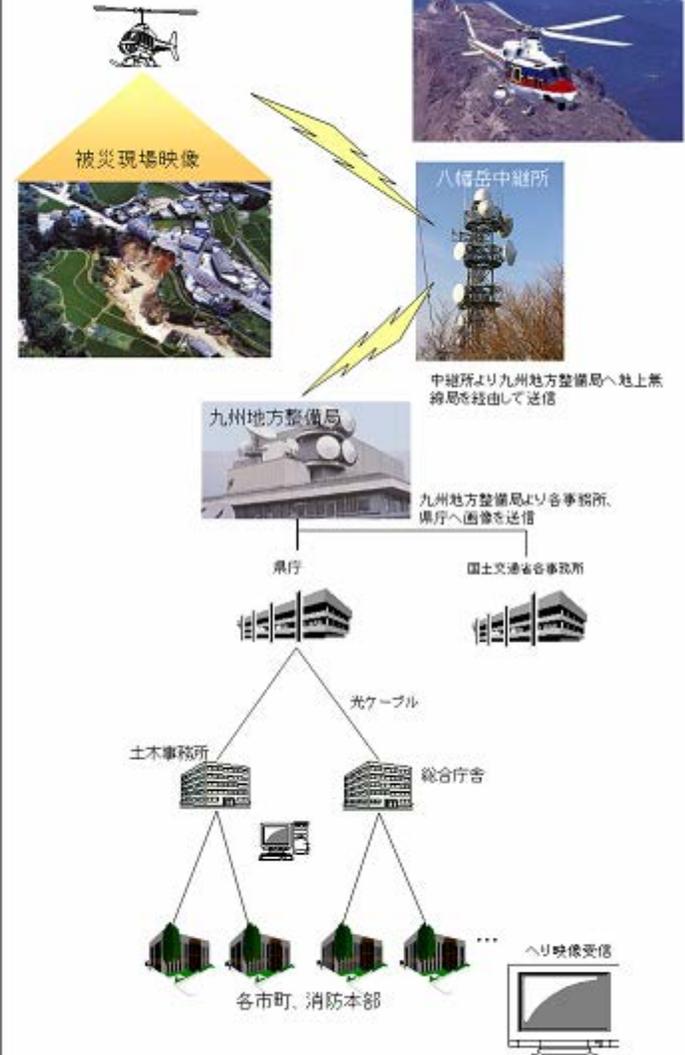
- H19年度 各機関の所有する防災情報の種類及び収集・伝達方法等のヒアリング調査
- システム構成案の作成
- デモシステム(オフライン)の作成
- H20年度 実務者連絡会に参加する各機関に防災情報に関する意見照会以降
- システム整備着手予定

施策No.1-3 ヘリテレによる画像の生中継

機関名・事務所名	参加機関名	幹事機関	担当者	連絡先
	九州地方整備局	◎		
	国土交通省 武雄河川事務所		調査課 調査係	0954-23-7933
	国土交通省 筑後川河川事務所			
	佐賀県 消防防災課		防災情報担当	0952-25-7027
施策名	ヘリテレによる画像の生中継			
施策の概要	九州地方整備局防災ヘリからのTV生中継画像の光ネットによる市町村まで含めた関係各機関への配信			
施策の内容(目標)	地震や大規模水害など広域的な災害が発生した場合、迅速、的確に被害状況を把握する方法としてヘリコプターによる上空からの調査が有効である。被災地上空から送られてくる生中継画像を県、市町村の災害対策本部へ送信することにより的確な防災体制の発令や広域応援体制の確立が可能となる。			
施策を実行することによる利点	八幡岳に地上追尾局を設置することにより、佐賀県のほぼ全域においてヘリコプターからの生中継画像を中継することが可能となる。 ①県、市町、消防本部が一体とした映像を観ることにより、情報の共有化ができ、迅速な防災体制を執ることが出来る。			
スケジュール案	H19.9.21 県・市町との受信確認訓練実施 H19 改善点の整理			
備考				

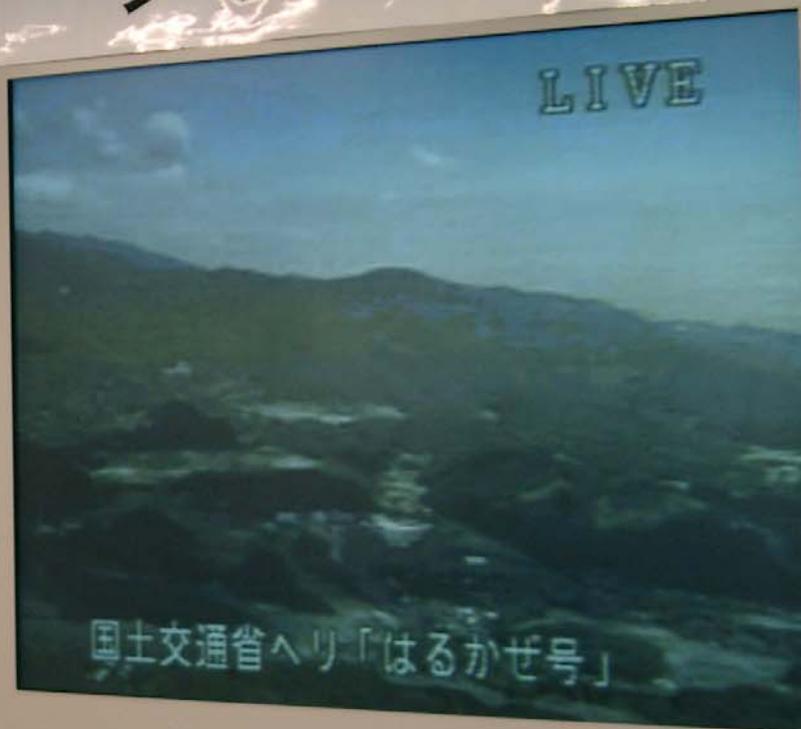
施策概要図

ヘリコプターによる生中継画像の配信



ヘリテレによる画像の生中継情報伝達のイメージ図

全県水防テレメータシステム



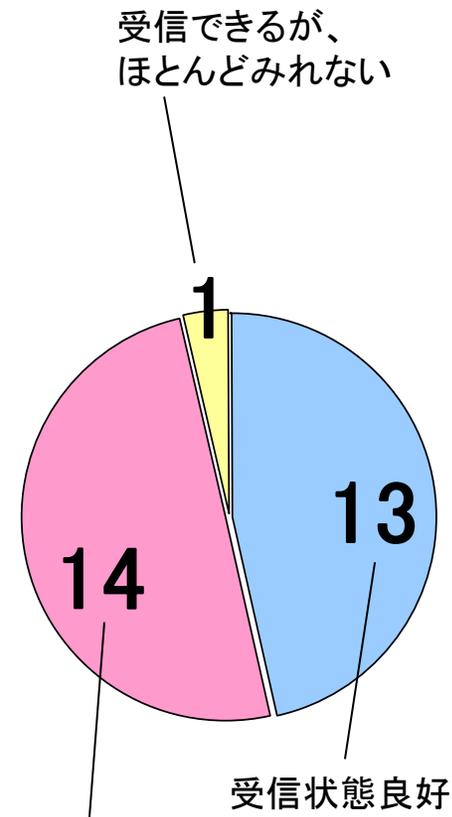
JRC

LIVE

国土交通省へリ「はるかぜ号」

H19.9.21 ヘリテレ訓練 アンケート結果とその改善策

課題	意見	対策
画面の文字	着陸中等の映像受信ができない時に画面処理(ブルーバックなど)をしないと文字がわかりにくい。	災害時に運行する場合は、画面のバックをカラーバーにしておりますので、今後も継続していきます。
雨天時の映像	雨天時の映像が心配。	雨天時等の天候が悪く、視界不良の場合は航空法によりヘリが運行できない場合があります。雨天時にヘリを運行した場合、映像に乱れが生じる可能性があります。災害箇所を確認できない程、乱れは生じないと考えています。
映像	多久方面での低空飛行中途絶える場面有り。	低空飛行時、上昇・下降時や急旋回時などは画像が乱れやすくなります。災害箇所を撮影する際はスピードを落とし、画像が乱れないような高度を保って飛行します。
	もっと鮮明に願います。	
	乱れることも多く若干見にくい。	
	かなり見にくい。画像が粗く確認しづらい。	
	時折乱れあり。	
	時間帯によって乱れ有り。全体的に暗い。	
	13:40~14:00光の影響?で白黒っぽい映像。	
	天山と空港付近は見にくかった。	
	時々乱れ有り。	
	時々、途切れ有るが見やすい。	
スクランブル、白いボカシの縞有り。上昇、降下時に乱れ?時々白黒映像。		
ノイズがたまに有る。時間帯によって受信状態変化。		
受信状況	14:30~14:50受信できず。	ヘリテレシステムの映像データは、ヘリテレ⇒整備局⇒佐賀国道事務所⇒佐賀県⇒各市町・土木事務所の流れで伝達されます。今回の訓練では佐賀県までの受信は良好であったことから、県から各市町・土木事務所への配信に問題がある可能性があり、原因究明を行います。
	16:10まで受信できず。	
	15:50~16:00見れず。	
	13:58~14:08 4回画像とぎれる。	
	14:30~14:50アクセスできず。	
	15:55~16:03画像見れず。	
撮影場所の確認	場所が判りづらい。テロップや音声等で補完できるか? 一回表示されたGPSの縮尺を変え、利用できるか?	災害時に運行する場合は、画面を半分カメラ映像+半分地図情報を表示しておりますので、今後も継続していきます。また、下記の対策を現在検討中です。 ・位置情報のテロップを挿入。 ・アナウンスの実施。
	アナウンスがあると場所がわかりやすい。	
	飛んでいる場所が判らないので判るようにしてほしい。	



受信できるが、若干見にくい

受信できるが、ほとんどみれない

受信状態良好

施策No. 1－4 CCTV画像による浸水状況把握

現在までの進捗状況

H20. 1CCTVの選定と量水標設置場所の検討

一般国道34号に設置のCCTV10箇所(予定)

今後の予定

平成19年量水標設置予定の関係機関と協議

平成20年量水標設置

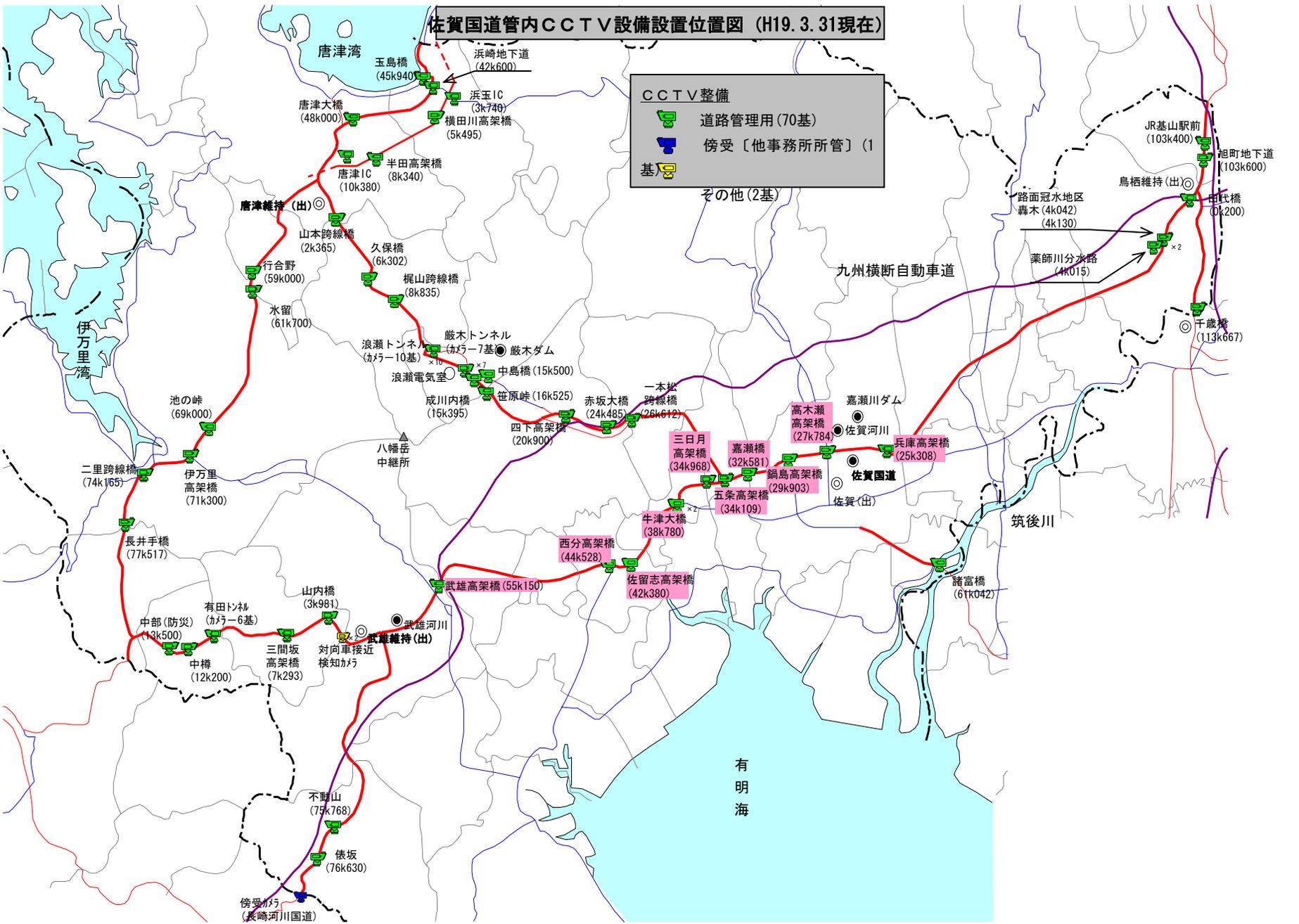
CCTV画像による浸水状況把握箇所(予定)一覧表

no	路線	対象CCTV	距離標	所在地	量水標設置箇所(予定)	管理者	備考
1	34号	兵庫高架橋	25k308	佐賀市兵庫町	九電-233キ651	九州電力	
2		高木瀬高架橋	27k784	佐賀市日の出	街路灯	佐賀国道	
3		鍋島高架橋	29k903	佐賀市鍋島町	標識柱	佐賀国道	
4		嘉瀬橋	32k581	佐賀市鍋島町	九電-229へ872	九州電力	
5		五条高架橋	34k109	小城市三日月町	標識柱	佐賀国道	
6		三日月高架橋	34k968	小城市三日月町	NTT-樋口 支 32	NTT	
7		牛津大橋	38k780	小城市牛津町	ボックス	佐賀県	
8		佐留志高架橋	42k380	江北町惣領二本松	九電-561ハ414	九州電力	
9		西分高架橋	44k528	江北町山口三本松	信号柱	交通管理者	
10		武雄高架橋	55k150	武雄市朝日町	九電-499チ831	九州電力	

佐賀国道管内CCTV設備設置位置図 (H19. 3. 31現在)

CCTV 整備

-  道路管理用 (70基)
-  傍受〔他事務所所管〕 (1基)
-  その他 (2基)



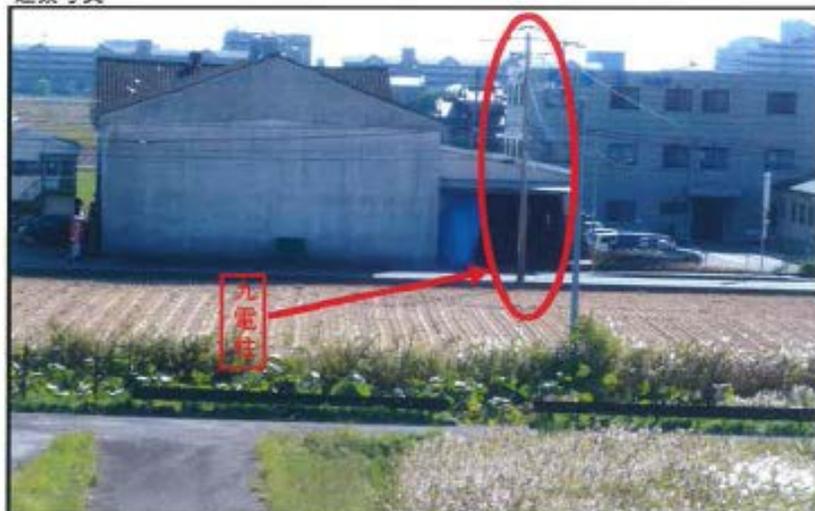
① 兵庫高架橋

高架名: 兵庫高架橋
位置図

距離表: 25K308 管理者: 九州電力

備考: 九電-233 千 651: NTT-測 支 60

遠景写真



設置箇所図



近景写真



② 高木瀬高架橋

高架名: 高木瀬高架橋 距離表: 27K784 管理者: 国土交通省 備考: 街路灯-2789L1880
位置図 遠景写真



設置箇所図



近景写真



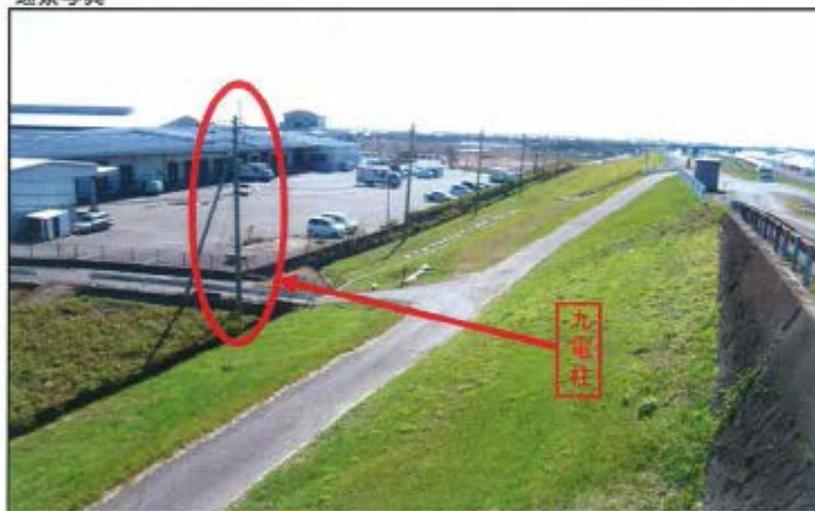
③ 鍋島高架橋

高架名: 鍋島高架橋 距離表: 29K903 管理者: 国土交通省 備考: L型標識柱



④ 嘉瀬橋

高架名: 嘉瀬橋高架橋 距離表: 32K581 管理者: 九州電力 備考: 九電-229へ872:NTT-桜幹右3/66



設置箇所図



近景写真



⑤ 五条高架橋

高架名: 五条高架橋 距離表: 34K109 管理者: 国土交通省 備考: F型標識柱
位置図 遠景写真



設置箇所図



近景写真



⑥ 三日月高架橋

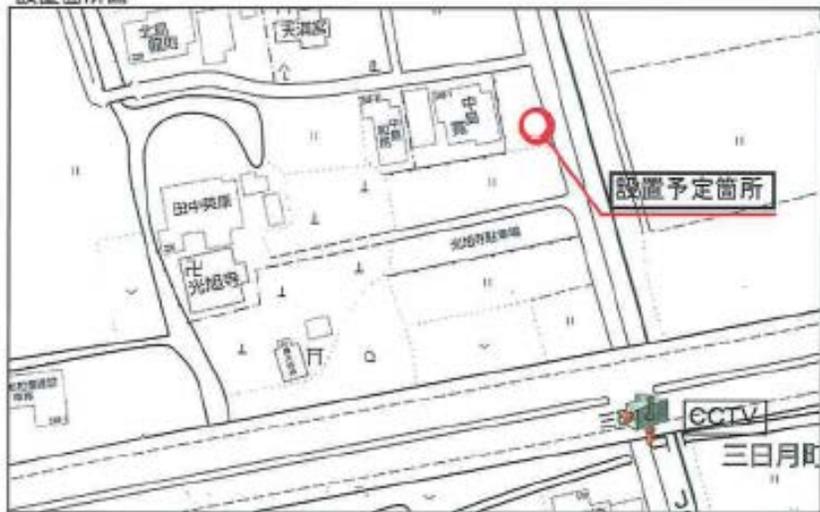
高架名: 三日月高架橋 距離表: 34K968 管理者: NTT
位置図

備考: NTT-樋口支 32

遠景写真



設置箇所図



近景写真



⑦ 牛津大橋

高架名: 牛津大橋

距離表: 38K780 管理者: 佐賀県

備考: 県道284号

遠景写真



設置箇所図



近景写真



⑧ 佐留志高架橋

高架名: 佐留志高架橋 距離表: 42K380 管理者: NTT
位置図

備考: 九電-561ハ414:NTT-東幹57
遠景写真



設置箇所図



近景写真



⑨ 西分高架橋

高架名: 西分高架橋
位置図

距離表: 44K528 管理者: 交通管理者 備考:

信号灯機: 歩行者灯機: 歩行者用押しボタン
遠景写真



設置箇所図



近景写真



⑩ 武雄高架橋

高架名: 武雄高架橋
位置図

距離表: 55K150 管理者: 九州電力

備考: 九電-499 子 831

遠景写真



設置箇所図



近景写真



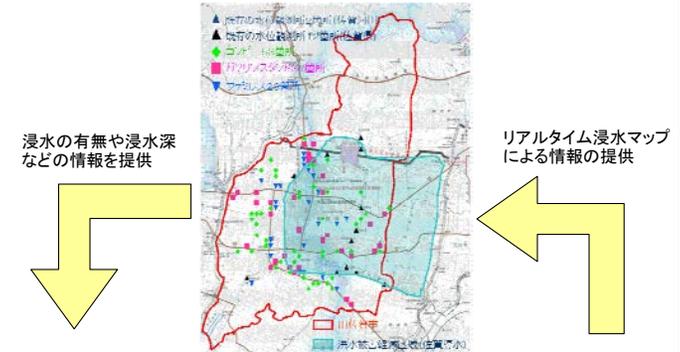
施策No.1-5 民間からの情報提供

佐賀平野大規模浸水危機管理対策・各機関による施策 個別表

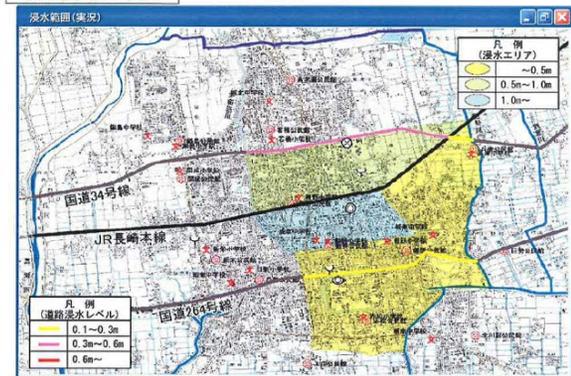
施策No.1-5				
機関名・事務所名	参加機関名	幹事機関	担当者	連絡先
	国土交通省 佐賀河川総合開発工事事務所	◎	調査設計課	0952-30-4511
	国土交通省 武雄河川事務所		調査課 大規模浸水危機管理計画担当	0954-23-7933
	国土交通省 佐賀国道事務所		管理一課 課長	0952-32-1151
	佐賀県 河川砂防課		防災担当	0952-25-7162
施策名	民間からの情報提供			
施策の概要	各地点の浸水状況、被害状況について商店等の民間団体からの情報提供などを頂きながら、周辺地域の洪水被害の最小化と地域住民の方々が避難行動へと繋がるような浸水情報の提供			
施策の内容 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀県内の民間会社から洪水時に浸水の有無と浸水深などの情報を提供してもらう。 ・ 各地点の浸水状況や被害状況に基づき、リアルタイムの浸水マップを作成し、情報提供する。 ・ 道路の冠水情報や交通止め等の情報を、いち早く住民やドライバーに提供する。 			
施策を実行することによる利点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐賀平野の浸水エリア分布を把握することができる。 ・ 早期の情報収集による発災情報を市町へ情報提供により、市町による住民への的確な避難指示の発令が可能となる。 ・ 住民やドライバー等への迅速で正確な道路情報の提供、伝達が可能となる。 			
スケジュール案	H19 各民間会社との調整及び行政関係機関の窓口調整 H20 リアルタイムシステム完成予定 (リアルタイム浸水マップ)			
備考	国・県の各事務所が所管する地区を定め、情報収集し共有			

1. 情報収集・伝達

リアルタイムシステムのイメージ図



浸水範囲表示画面



施策概要図

その他に...



施策No.1-7 高速道路等における道路情報等の提供

機関名・事務所名	参加機関名	幹事機関	担当者	連絡先
	西日本高速道路(株) 佐賀管理事務所	◎	工務課 工務担当課長	0952-62-0075
	国土交通省 佐賀国道事務所		管理一課 課長	0952-32-1151
	佐賀県 道路課		維持担当	0952-25-7156
施策名	高速道路における道路情報等の提供			
施策の概要	一般車両に対してSAおよび道の駅の情報端末を用いて一般道路の浸水状況や通行止め等の情報を提供する。また道路情報表示板でも一般道路の情報を提供する			
施策の内容 (目標)	大規模浸水時において、国道・県道の管理者から高速道路の管理者に対して、一般道路の浸水状況や通行止めの状況について情報を提供。 高速道路管理者から高速道路通行車両に対して、SAおよび道の駅等の情報端末や道路情報表示板で一般道路の状況を提供。 一般道路の状況をいち早く高速道路利用者へ提供することで、高速道路利用者の適切な誘導を実施。			
施策を実施することによる利点	高速道路利用者が一般道路の情報をいち早く入手することで、適切な経路選択が可能。 浸水エリアへの一般車両の進入抑制が可能。			
スケジュール案	H19 基本的考え方の整理 H20～ 情報版の更新 電光タイプ⇒LEDタイプ			
備考	道路情報番に表示する内容について、交通管理者との調整が必要。 一般道路の管理者から高速道路の管理者への円滑な情報提供の仕組みについて検討・調整が必要。			

施策概要図



高速道路における道路情報等の提供イメージ図

4. 各施策の進捗状況及び今後の取り組み 予定についての報告

③ 広域応援・緊急輸送路ネットワーク

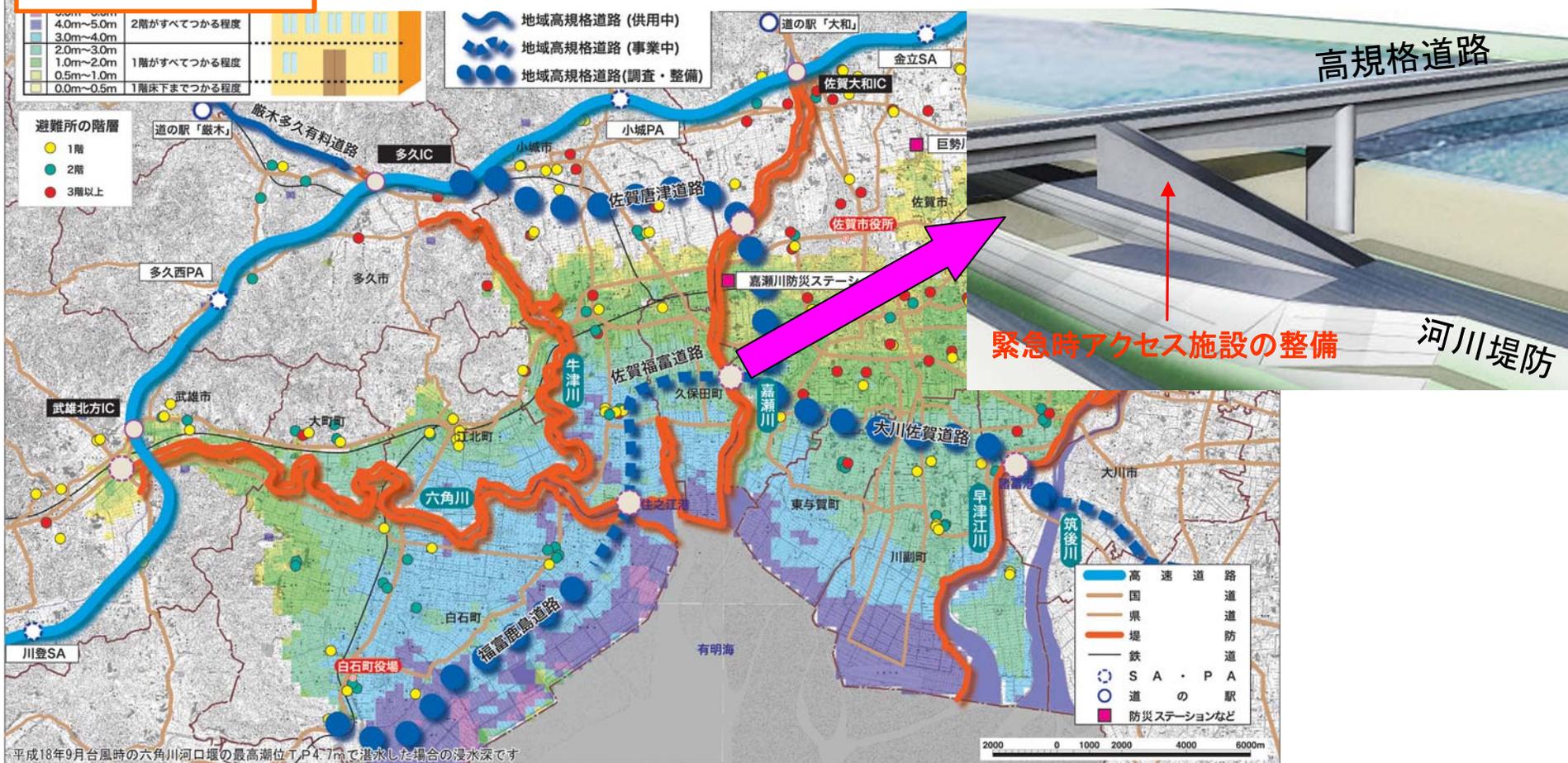
施策No2-1 地域高規格道路等と河川堤防の接続

施策の目的

洪水や高潮等による広域かつ大規模な浸水時の広域応援・緊急輸送路ネットワークを確保する。

施策の概要

緊急時に道路高の比較的高い高規格道路と河川堤防を接続する。



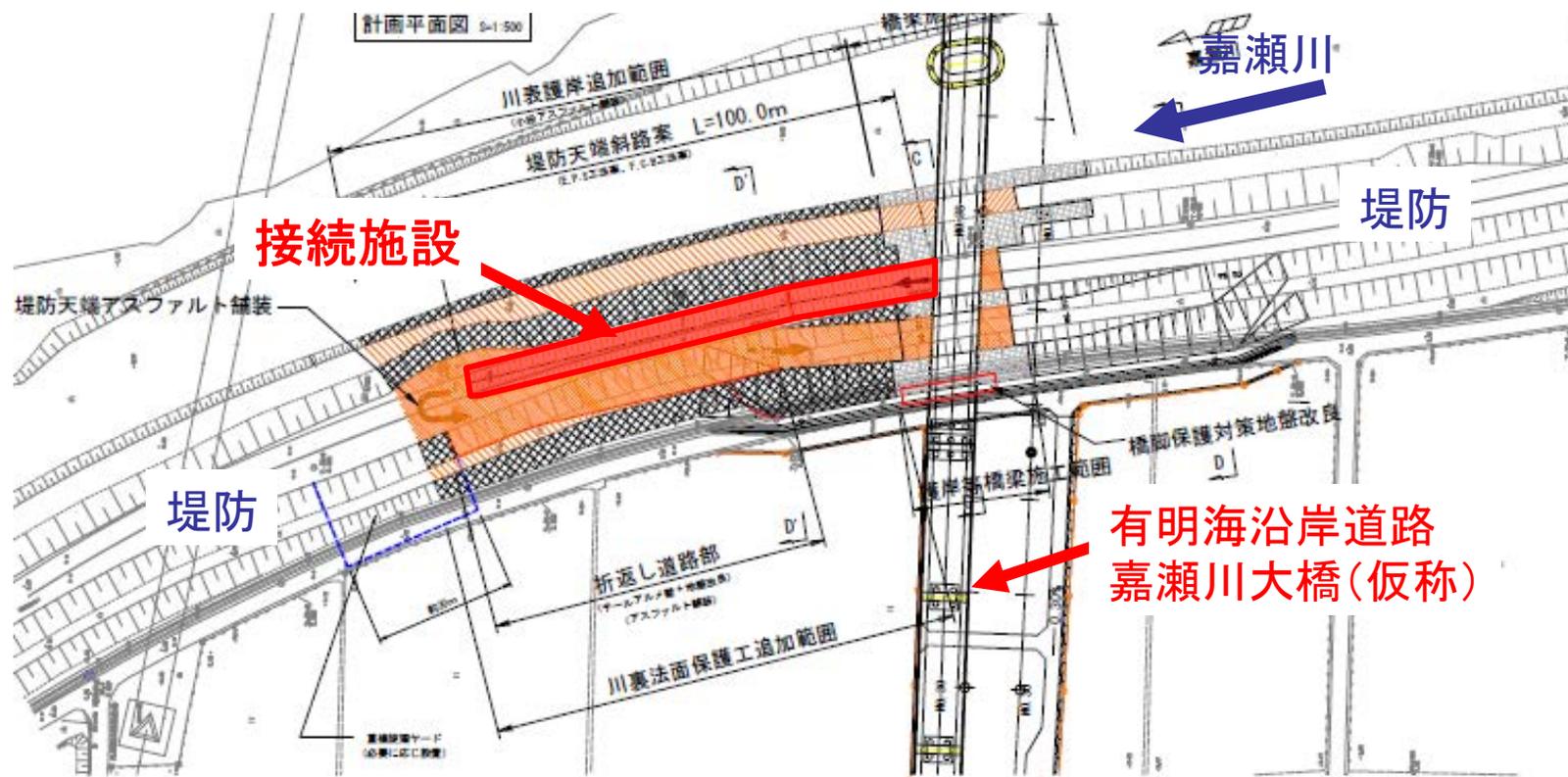
施策No2-1 地域高規格道路等と河川堤防の接続

進捗状況

接続施設の予備設計中

今後の予定

来年度 詳細設計



接続施設計画平面図(案)

施策No.2-1 地域高規格道路等と河川堤防の接続

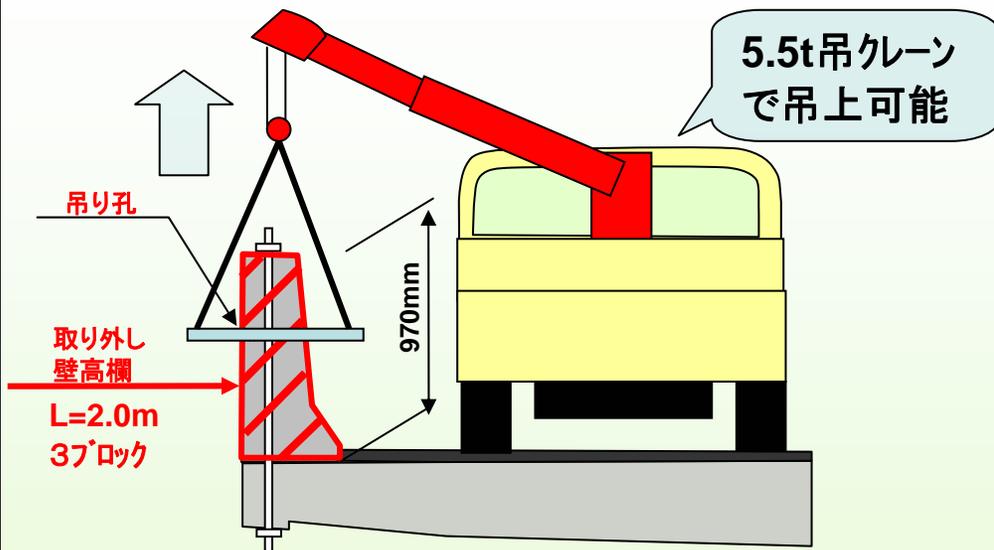
～取り外し可能な壁高欄の設計～

現在までの進捗状況

H19年11月 嘉瀬川大橋（仮称）の壁高欄の設計完了

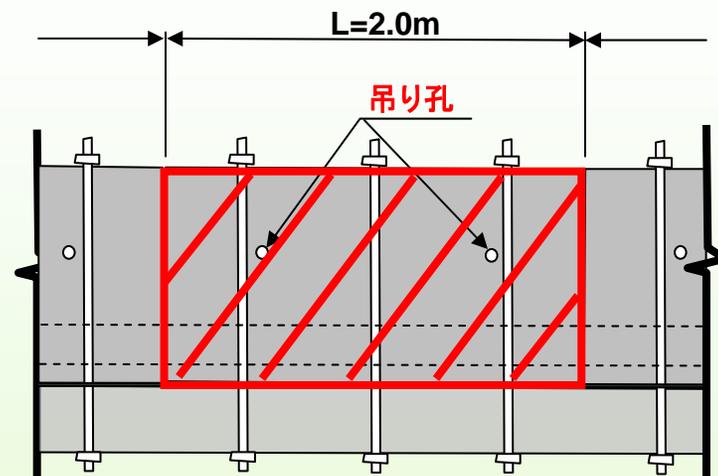
取り外し可能な壁高欄

壁高欄 断面図



壁高欄 側面図

重量 15kN/ブロック



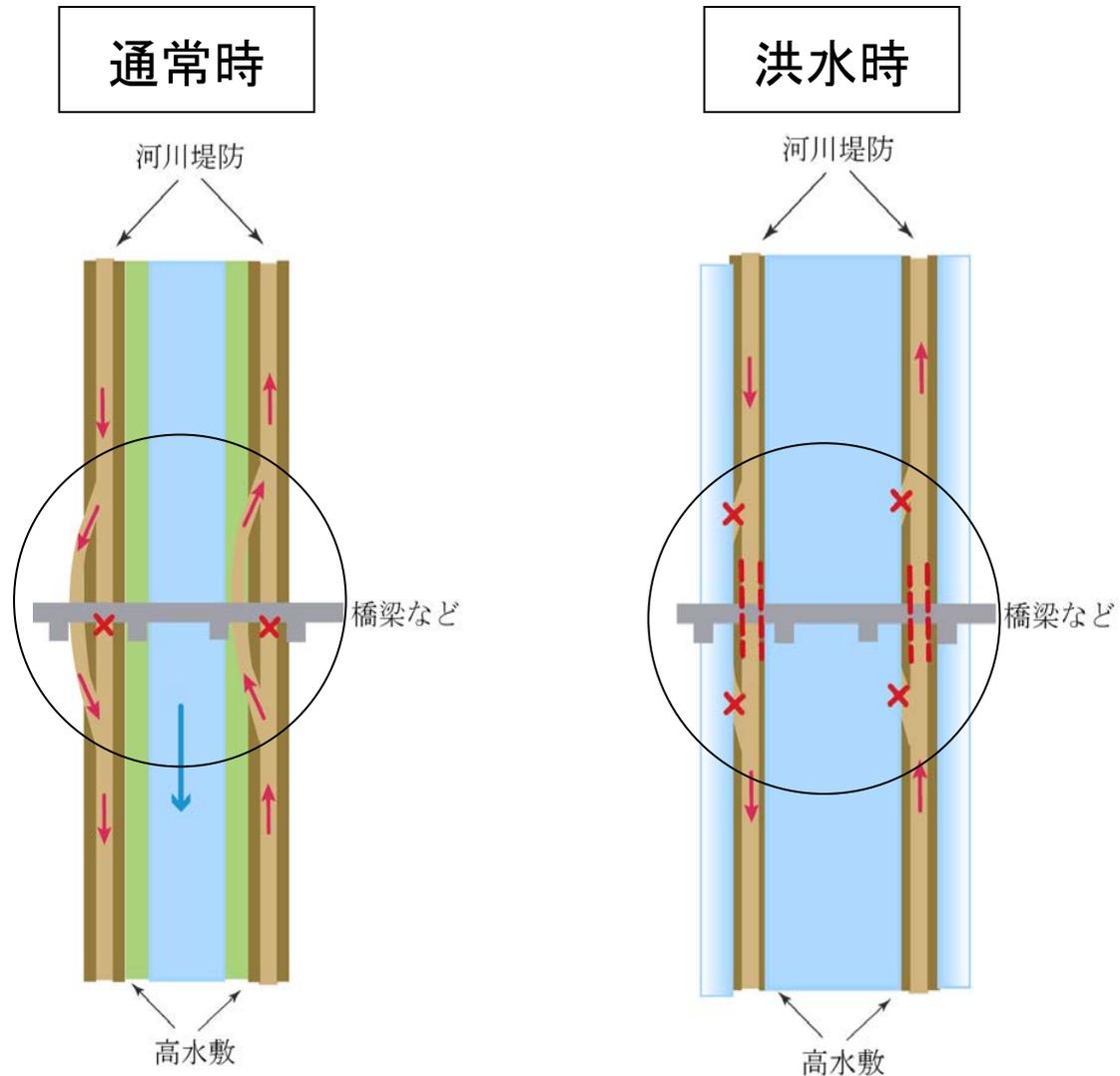
今後の予定

H20年度 嘉瀬川大橋（仮称）の上部工着手

H22年度 嘉瀬川大橋完成。有明海沿岸道路 久保田I.C～嘉瀬南I.C 供用開始

施策No.2-3 河川管理用通路の確保

施策の概要



施策の目的

河川を横断して設けられる橋梁等により通行が阻害されている河川管理用通路の確保

施策No.2-3 河川管理用通路の確保

現在までの進捗状況

平成19年度実施箇所(武雄IC付近と堤防天の接続)



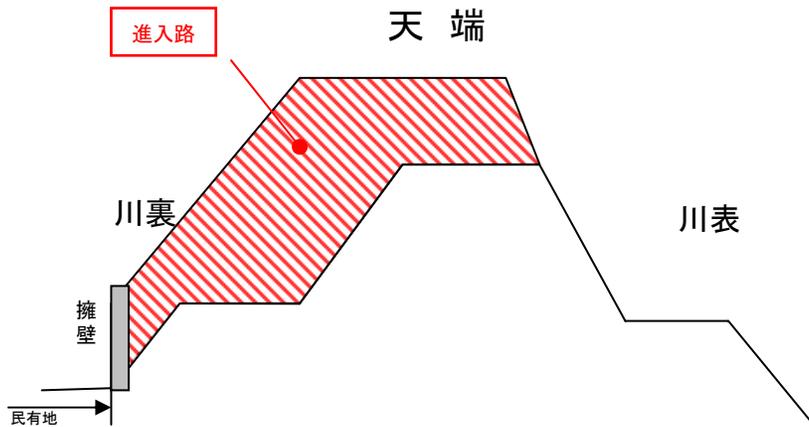
河川を横断して設けられる橋梁等により通行が阻害されている河川管理用通路の確保

施策No.2-3 河川管理用通路の確保

現在までの進捗状況その2

(H19実施箇所)

横断図



今後の予定

○H19年度

武雄IC付近と堤防天端の接続H20.3完了予定

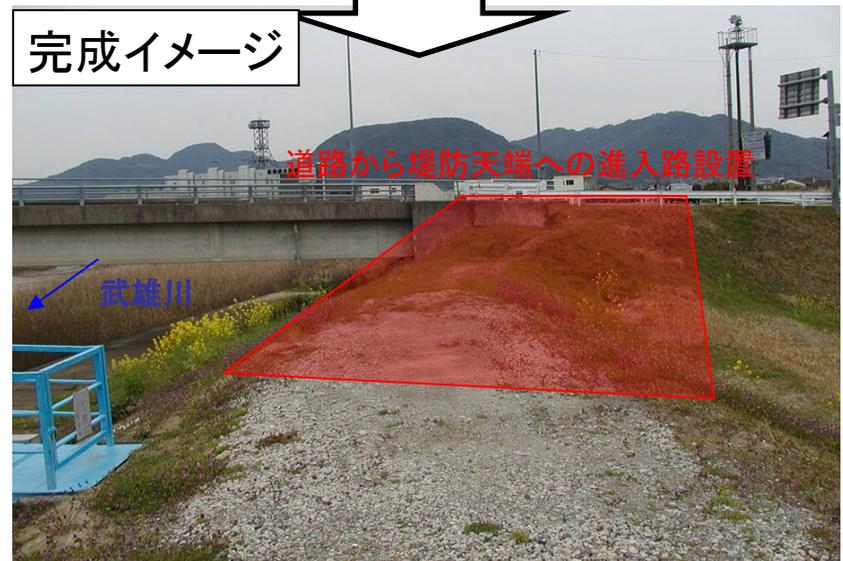
○H20年度

協議が整った箇所より実施

現況



完成イメージ



施策No.2-5 SA・PAでの接続ポイント

機関名・事務所名	参加機関名	幹事機関	担当者	連絡先
	西日本高速道路(株) 佐賀管理事務所	◎	工務課 工務担当課長	0952-62-0075
	佐賀県 道路課		維持担当	0952-25-7156
	佐賀市		緑化推進課(調整中)	
	小城市		総務課 消防交通係	0952-63-8818
	多久市		建設整備課 道路河川係	0952-75-4826
	武雄市		総務課 安全安心係	0954-23-9315
	佐賀県警察本部		高速道路交通警察隊	0952-62-4902
施策名	SA、PAでの接続ポイント			
施策の概要	SA、PAと一般道の接続(緊急開口部)			
施策の内容(目標)	高速道路のSA・PAと側道の接続ポイント整備によるネットワークサービス機能向上			
施策を実行することによる利点	きめ細かなネットワークの展開			
スケジュール案	H19 接続ポイントの整備計画及び管理に関する整理 H20 接続ポイント工事			
備考	小城PAについては、スマートICの計画あり			

施策概要図

金立SA(下り線)

23.2KP 23.4KP

金立SA(上り線)

金立ハイウェイオアシス

==== 緊急開口部(予定箇所)

緊急開口部(予定箇所)

4. 各施策の進捗状況及び今後の取り組み 予定についての報告

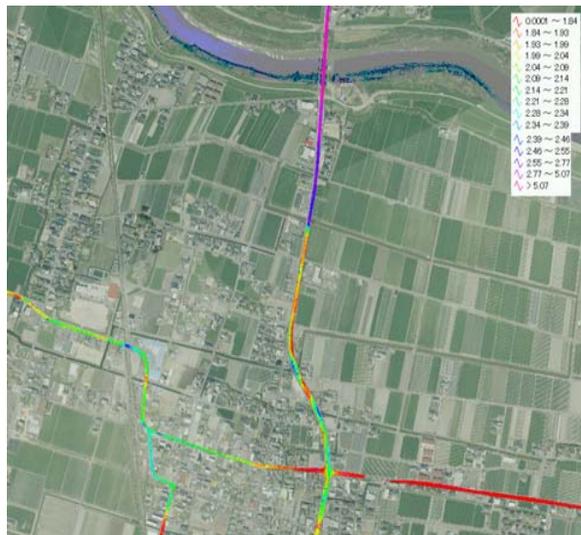
④連携強化

施策No.2-2 一般道路の路面高確認

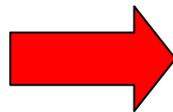
施策の目的

大規模浸水時の避難所等へのルート把握

施策の概要



レーザープロファイラ
から道路高の抽出



道路高図の作成

施策No.2-2 一般道路の路面高確認

進捗状況

H19.9 暫定版システム完成

A地区道路浸水マップ



浸水位



- 浸水しない道路
- 30cm 以下浸水する道路
- 30cm ~ 50cm 浸水する道路
- 0.5m ~ 1.0m 浸水する道路
- 1.0m ~ 1.5m 浸水する道路
- 1.5m ~ 2.0m 浸水する道路
- 2.0m 以上浸水する道路

避難所の階層

- 1階
- 2階
- 3階以上
- 未確認

施策No.2-2 一般道路の路面高確認

今後の予定

- H19年度
 - ・実務者連絡会に参加する各機関に暫定版システムを配布
 - ・暫定版システムに関して、ユーザーの意見取りまとめ
- H20年度
 - ・モデル地区でのシステム試行
 - ・暫定版システムの改良
 - ・活用策の検討
 - 民間の情報提供、防災情報掲示板等の施策との連携等

施策No3-2 避難所の位置及び構造の評価

施策の目的

施策の概要

進捗状況

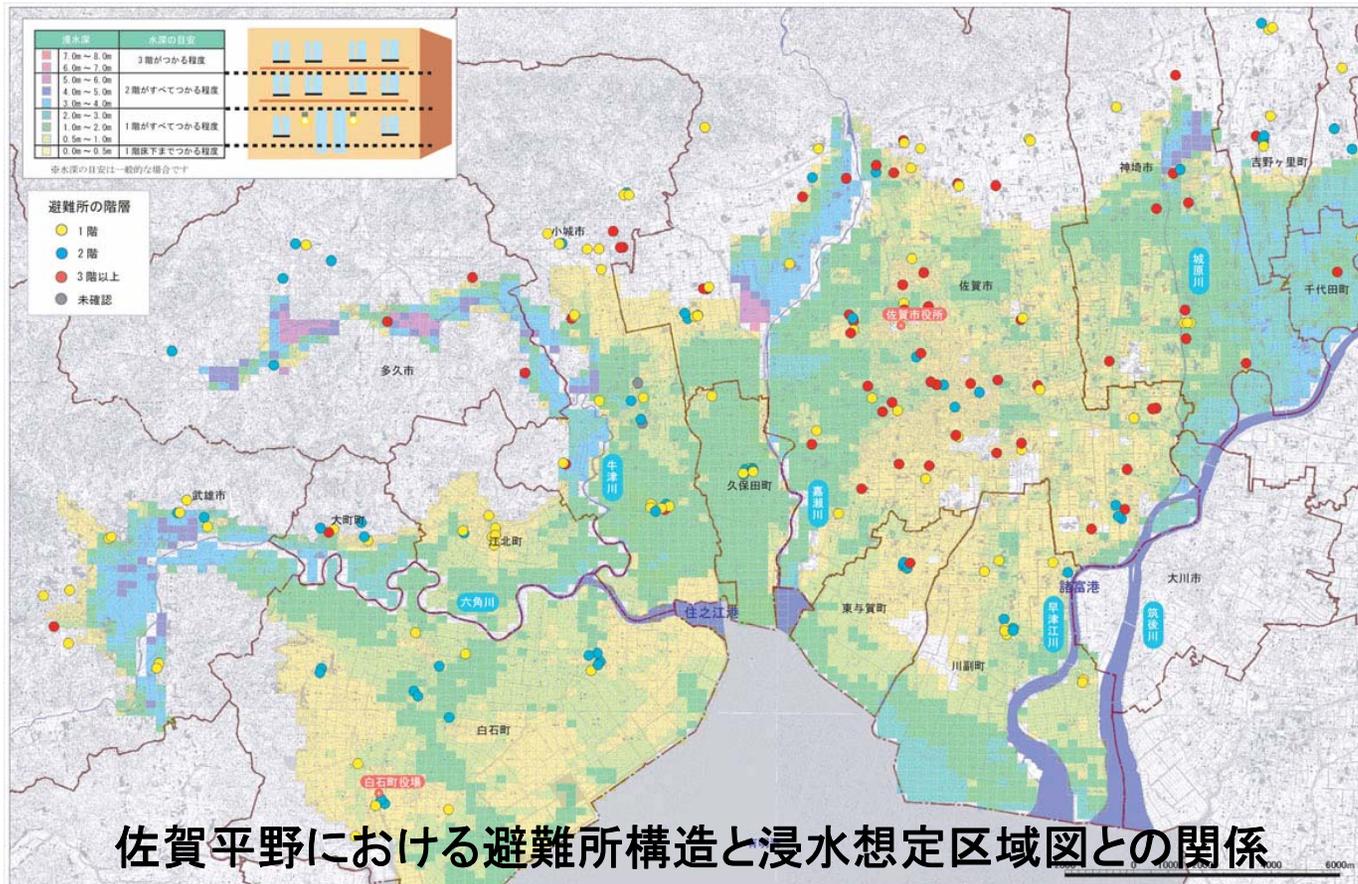
今後の予定

大規模浸水時に使用できる避難所を把握する。

避難所の位置及び階層を調査する。

避難所の位置、階層の調査済み。

備蓄物等の情報の追加。



施策No.3-3 防災まちづくり

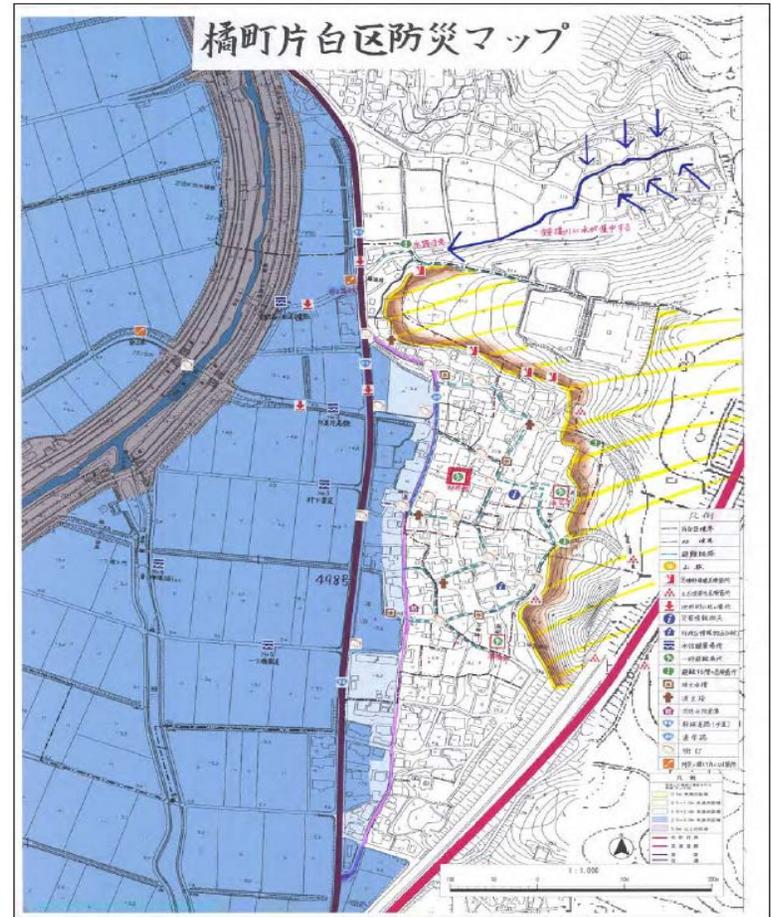
施策の目的

地域住民自らがハザードマップを作成することで、防災意識の向上を図る。

施策の概要



▲現地調査状況、防災マップ作成状況



▲マイ防災マップ

施策No.3-3 防災まちづくり

進捗状況

H17年度 マイ防災マップ作成支援開始

H19年度 8地区でマイ防災マップ作成済み

現在2地区で作成中

今後の予定

引き続きマイ防災マップ作成支援を行う

国、県、市町の連携したマイ防災マップ作成支援について検討する

施策No.1-6 リエゾン制度

施策の目的

大規模災害時において、市町等の情報収集・連絡調整及び迅速な支援を行うため、担当者(国、県)を市町の災害対策本部へ派遣する。

施策の概要

- ①派遣基準
 - ②派遣職員及び派遣人数
 - ③派遣職員の業務
- などを決定する。

施策No.1-6 リエゾン制度

現在までの進捗状況

H20. 1 職員派遣についての庁内連絡会議(第1回)

H20. 3 職員派遣についての庁内連絡会議(第2回)

今後の予定

H19年度 庁内連絡会議を行い県職員派遣の考え方を取りまとめ、派遣要領等を策定

H20年度 市町との協議(派遣時期、派遣人数等)

施策No.3-1 避難所整備ガイドライン

施策の目的

高齢者、障害者等の災害時要援護者(災害弱者)の利用を考慮した避難所の整備

指針策定の趣旨

- ・災害時の避難所は、小中学校の体育館や公民館等の公共施設が指定されているが、本来の目的に沿って整備され、避難所として利用する場合機能が十分でない。
- ・高齢者や障害者を始め、誰でもが使いやすく、安心して避難できるよう、理想の避難諸施設の整備推進を図るために指針を策定した。

施策No.3-1 避難所整備ガイドライン

指針の構成

- ・避難諸施設整備項目：大項目9、小項目22
- ・避難諸施設整備マニュアル：「小中学校体育館」、「公民館」に大別し2段階の整備レベルを提示

指針の性格

避難所指定が想定される公共施設を、市町が新築又は建て替える場合の施設整備のガイドライン

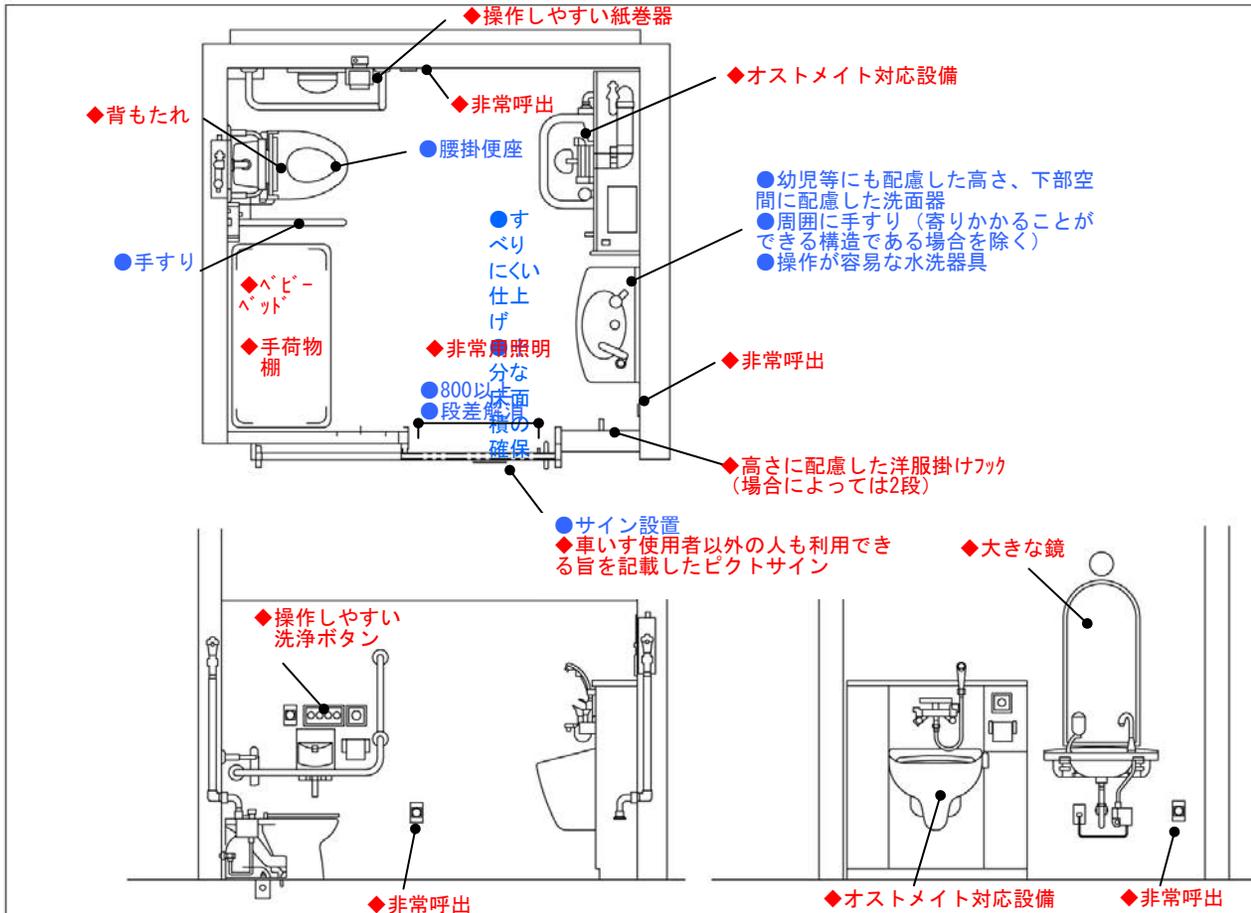
現在までの進捗状況

H18年度：モデル避難所整備指針 策定

H19年度以降：市町防災担当課長会議等で市町へ要請

施策No.3-1 避難所整備ガイドライン

車いす対応型トイレ（整備レベル1：図中の●）
 多機能トイレ（整備レベル2：図中の●及び◆）



凡例 ●整備レベル1
 ◆整備レベル2

施策 その他 自主防災組織化促進事業

施策の目的

- ・ 防災に関する十分な意識、知識、技能を身につけた地域防災のリーダーを養成(地域リーダー養成研修講座)
- ・ 地域防災のリーダーを県内各地に配置し活用することにより、地域の防災力の「質」の向上につなげていく
- ・ 地域防災のリーダーが防災活動の中心的人材となって、地域の自主防災組織の設立に向けた取組みを期待

施策の概要

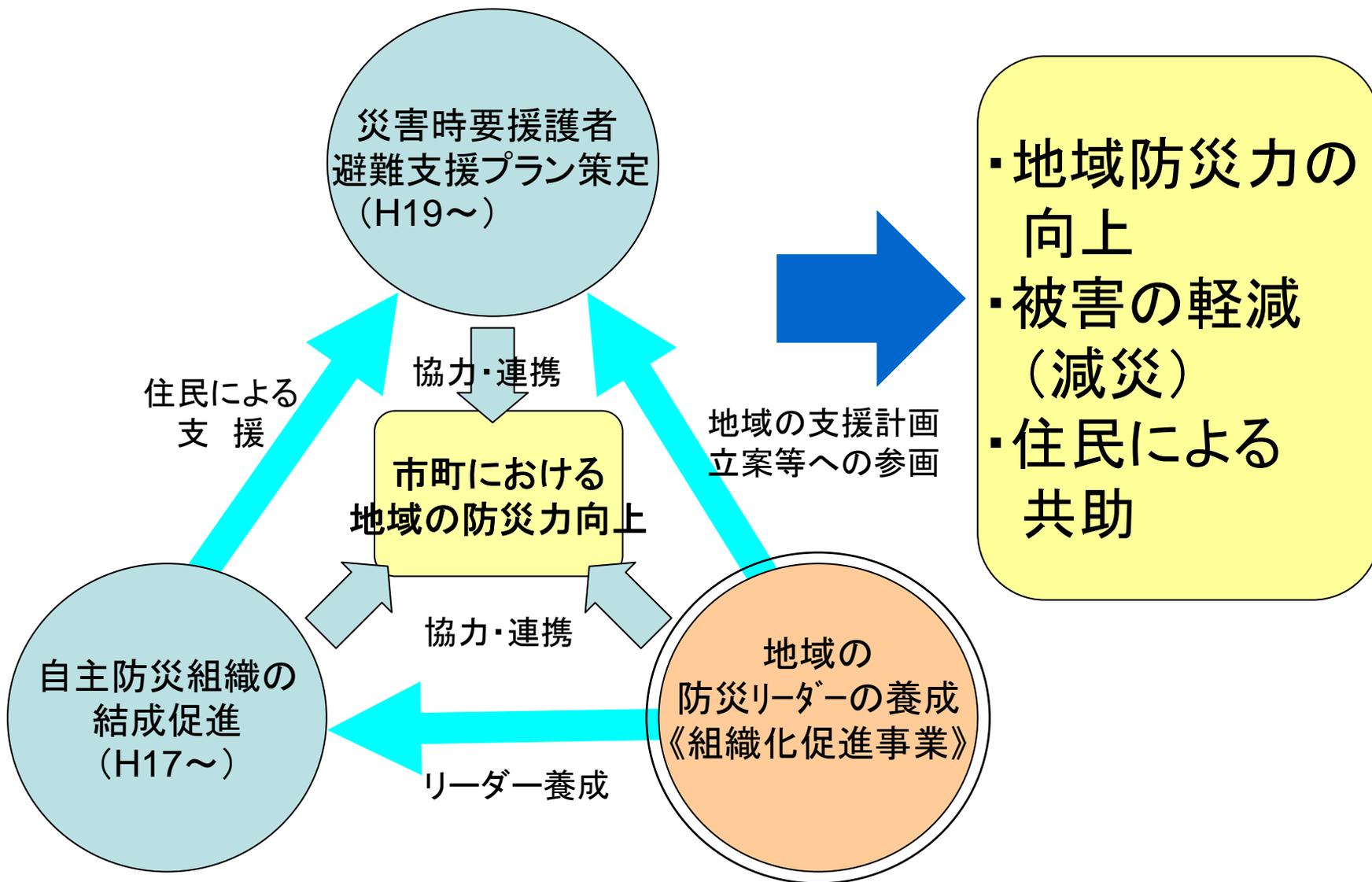
内容：地域防災リーダー養成研修講座を開催し、地域防災リーダー(防災士)を養成する

期間：平成19年～平成22年

養成人数：700名程度

対象者：自治会長・区長、消防団OB、地域から推薦された者

地域防災力向上のイメージ



防災士の活動イメージ

専門性軸

常備消防

訓練・予防・啓発

高度救助

救助・救命

消防団

訓練

救助

復旧支援

自主防災組織（防災士）

啓発・訓練

救助

避難所運営・ボランティア 等

平常時

災害
発生時

災害発生後

時間軸

施策 その他 自主防災組織化促進事業

現在までの進捗状況

H20. 2 第1回 地域防災リーダー養成講座(佐賀市)
参加者 100名

今後の予定

H20年度 ・研修講座:年2~3回
~ 各年 約200名養成
H22年度 ・開催場所:ブロック単位で開催予定
・募集方法:市町を通じて募集

4. 各施策の進捗状況及び今後の取り組み 予定についての報告

⑤個別対応

施策No.2-4(1) 防災ステーション整備 (嘉瀬川防災ステーション)

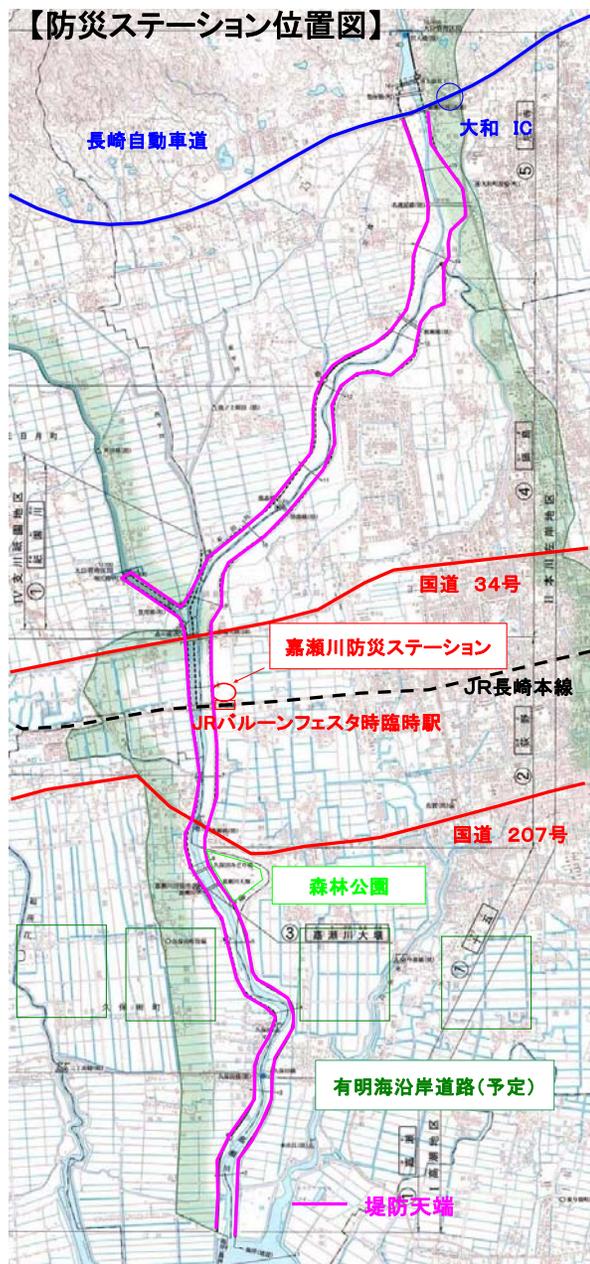
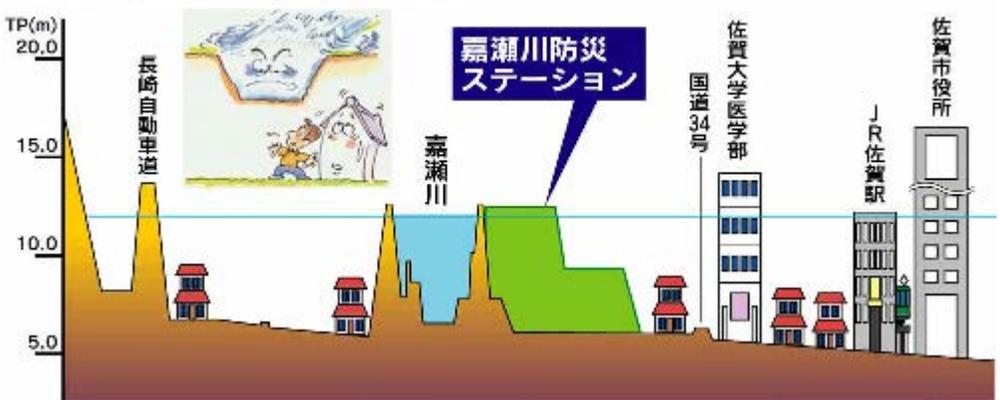
施策の概要

緊急輸送路ネットワークに連動する防災ステーション、避難場所等の整備

施策の目的・利点

広域的な応急復旧対策の拠点として、いち早い河川施設等の機能回復や、一般市民の円滑な避難誘導を行うことが可能となる。

■嘉瀬川と佐賀平野との関係(概念図)



施策No.2-4(1)防災ステーション整備 (嘉瀬川防災ステーション)

進捗状況

	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		備考
	4月	10月	4月	10月	4月	10月	4月	10月	
地盤改良工	→								
パーチカルドレーン工	→								
盛土(水防センター箇所)	→								点線は養生期間
盛土(資材備蓄箇所)	→								
その他	→								水防資材等
水防センター(佐賀市)	→								

■嘉瀬川防災ステーションの施設配置計画



総施設面積
16,000m²

凡例

- 緊急時水防面防範専用車両計画動線
- 緊急時作業用大型車両計画動線



災害時のイメージ図

1 土砂備蓄スペース(約6,000m²)

土砂の搬送とともに、土砂の積み込みや土のう作りなどの作業場、運搬機械の一時待機場としての機能を持っています。平常時にはスポーツ広場やフリーマーケットなどのイベント会場として利用できます。

2 水防支援スペース(約2,000m²)

水防センターについては佐賀市が整備します。水防資材(スコップ、カケヤ、土のう袋など)の保管とともに、会議や休憩、他に...用できる駐車場を設けます。

3 建設機械の活動スペース及び車両交換スペース(約600m²)

水防時にクレーンや運搬車両の作業ができるように大型車両が対面できるスペースを確保しています。

4 資材備蓄スペース(約2,300m²)

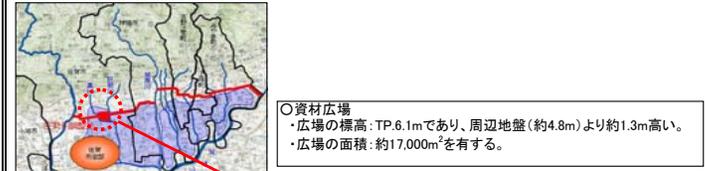
根柢ブロック、大型連接ブロックを備蓄します。平常時に立ち入ることはできません。

施策No.2-4(2) 防災拠点の整備(巨勢川調整池)

佐賀平野大規模浸水危機管理対策・各機関による施策 個別表

施策No.2-4				
機関名・事務所名	参加機関名	幹事機関	担当者	連絡先
	国土交通省 佐賀河川総合開発工事事務所	◎	工務課	0952-30-4511
施策名	防災拠点の整備(巨勢川調整池)			
施策の概要	緊急輸送路ネットワークに連動する防災ステーション、避難場所等の整備			
施策の内容(目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ステーションは、洪水などの際の応急復旧や市民の避難誘導を行うための活動拠点として、水防資材(土砂、根固ブロック)の備蓄、ヘリコプターによる被害状況調査を支えるヘリポート、水防センターなどの整備を行う。 ・平常時には、地域住民の余暇活動等のイベント開催時の交流広場として活用する。 			
施策を実行することによる利点	非常時においては、備蓄している資材等を活用できる。 また、防災センターの機能も合わせ持つため、災害情報といった様々な情報を集約し発信できる。			
スケジュール案	H19年度 防災拠点としての面整備、防災センターの基本設計完了 H20年度 防災拠点の整備完了 佐賀市との防災拠点に関する協定の締結			
備考				

巨勢川調整池 位置図



○資材広場
 ・広場の標高: TP.6.1mであり、周辺地盤(約4.8m)より約1.3m高い。
 ・広場の面積: 約17,000m²を有する。



巨勢川調整池 完成イメージ図

施策概要図



佐賀導水操作室



防災センターとしての空間設計

施策No.1-8 防災情報板

佐賀平野大規模浸水危機管理対策・各機関による施策 個別表

施策No.1-8

1. 情報収集・伝達

機関名・事務所名	参加機関名	幹事機関	担当者	連絡先
	国土交通省 佐賀河川総合開発工事事務所	◎	機械課	0952-30-4511
	佐賀県 河川砂防課		防災担当	0952-25-7162

施策名 河川・防災情報表示板の設置

施策の概要 各機関が収集把握している河川・防災情報をユーザーである住民側の視点で、また、住民のニーズに応じて提供することにより、災害の際に確実な行動につながるような情報提供の実施

施策の内容(目標) ・佐賀平野地域における気象、水文(雨量・水位)、地域情報、避難情報、各機関の防災情報、洪水予報、道路情報、河川・道路状況(CCTV画像)等について災害の際に住民の確実な避難行動等につながるような情報提供が可能な河川・防災情報表示板の設置を行う。

施策を実行することによる利点 情報提供を総合的に実施することにより、一般住民が有事に確実な避難行動等につながる事となり、被害の最小化を図ることが期待できる。

スケジュール案 H19年度 河川・防災情報表示板の設置 (H19.9.4 神崎市役所前に設置済み) フォローアップの一貫として住民の方々へのアンケートを実施中
H20年度 フォローアップのための委員会を設立し、コンテンツを充実
各排水ポンプ場などの情報板の設置

備考

施策概要図



◎災害の際に、住民の確実な避難行動に結びつく情報提供を行うために・・・



各排水ポンプ場などの情報板の設置イメージ